

Global Express

SAMPLE vol. 10 2010 January, Haiti earthquake

グローバル・エクスプレス サンプル版第10号 ver.2 2010年1月25日発行

この教材の著作権は(特活)開発教育協会に所属し、本誌の全部または一部を無断で複写・転載・引用・要約することは禁じます。本誌の「生徒用ワークシート」の複写による利用は、学問的な利用、教室・研究会等での利用に限ります。

Haiti ハイチ地震

2010年1月12日午後(日本時間13日朝)、ハイチで大地震が発生しました。マグニチュード7を超える揺れが1分以上続き、首都のポルトープランスを中心に甚大な被害を出しています。死亡者は20万人以上ともいわれています。まず、ハイチという国を知り、今回の地震が引き起こした悲劇や課題について考えてみましょう。

導入のアクティビティ: 新聞記事を読もう

◆導入としてハイチ地震についての新聞記事を全体で読んでみましょう

日本の新聞のほか、インターネットで配信されている各国の新聞記事には、日本の新聞やマスメディアでは得られない写真やデータが多数掲載されています。ぜひ参考にしましょう。

- 例) ガーディアン(英国) <http://www.guardian.co.uk/>
 ニューヨークタイムス(米国) <http://www.nytimes.com/>
 人民日報(中国) <http://www.people.com.cn/>
 エルpais(スペイン) <http://www.elpais.com/>



アクティビティ1: ハイチはどこだろう？

◆目的：世界の中のハイチの地理的理解を深める

◆対象：小学校中学年以上

◆所要時間：15～30分以上

◆備品：地球儀（あれば）、世界地図、中米地図

◆すすめ方：

- ① 教師は教室の真ん中か広い場所に立ち、「わたしはハイチの首都のポルトープランスです」と言い、東西南北を指し示します。
- ② 子どもたちに、アメリカ、イギリス、日本、ロシア、フランス、中国またはほかの国が位置する場所に立つよう指示します。
- ③ 子どもたちがそれぞれの場所に立ったら、話し合いをしながら、最終的に正しい場所に立つようにします。地球儀や世界地図を使ってもいいでしょう。
- ④ その後、席につき、中米地図もしくは世界地図を利用して地理的理解を深めます。
 - ・ハイチの場所をみつけて色を塗ってみましょう。
 - ・ハイチと国境を接している国はどこでしょう。その国名をあげてみましょう。
 - ・ハイチは日本や米国より大きいでしょうか。想像してみましょう。

◆参考資料：

■人口

日本 1億2千700万人
米国 3億1千400万人
中国 13億4千500万人
ハイチ 1千万人
フランス 6千200万人

■1人あたり国民総所得

日本 34,750USドル
米国 45,840 USドル
中国 5,420 USドル
ハイチ 1,050 USドル
フランス 33,850 USドル

■改善された水源の利用

日本 100%
米国 99%
中国 88%
ハイチ 58%
フランス 100%

■1人あたりエネルギー消費量

日本 4,129
米国 7,768
中国 1,433
ハイチ 272
フランス 4,444

■5歳未満児死亡率（出生千対）

日本 5/4（男/女）
米国 7/8
中国 25/35
ハイチ 90/80
フランス 5/4

※出典：世界人口白書 2009

<http://www.unfpa.or.jp/>

- ・1人あたり国民総所得：1人あたり購買力平価（PPP）による国民総所得（GNI）。この指標は以前は1人当たりGNP（国民総生産）と言っていたが、国内への配当（送金）や国外からの請求は考慮せず、人口の規模に関して、居住者と非居住者によって生産された最終使用の財およびサービスの総生産額を示す。したがってある国民の経済的生産力の指標となる。
- ・エネルギー消費量：年間国民1人当たりの石油1kgに相当する商業用第1次エネルギー（石炭、褐炭、石油、天然ガス、水力・原子力・地熱電気）の消費量を示す。
- ・改善された水源：水源が改善され、十分な量の安全な飲料水を利用者の住居から便利な距離の範囲内で入手している人口の割合。



アクティビティ2: 感じたこと・考えたこと

◆目的: ハイチ地震に関する気持ちに気づき、共有する。

◆対象: 小学校高学年以上 ◆備品: ワークシート

◆すすめ方:

- ①参加者に「ハイチ地震に対してどのように感じたか？」を問いかけ、気持ちを単語で書き出してもらおう。
- ②2人組みになり、それぞれの気持ちを共有し、そのように感じた理由を説明し合う。
- ③一人一枚ワークシートを配り、自分の気持ちに最も近いものを3つまで選び、下線を引いてもらう。
- ④空欄には、リストにない自分の気持ちを書いてもらう。
- ⑤2~3人のグループをつくり、互いにどれを選んだのか、なぜそれを選んだのかについて話し合う。
- ⑥全体で共有する。実際に行動したことについても話し合う。

ワークシート: 感じたこと・考えたこと

◆あなたの気持ちに最も近い3つに下線を引きましょう

◆リストにないあなたの気持ちを空欄に書きましょう

悲しい—とてもたくさんの方が亡くなった

イライラする—被災者は自分のことは自分ですべき

心配だ—また起こるかもしれない

無力感—自分は何もできない

誇らしい—なぜなら私たちは援助しているから

興奮した—とても衝撃的!

興味がある—
どのようにして地震が
起こったのかについて

大丈夫—世界の
リーダーたちがみんなを
助けてくれるから

とても動揺している—災害が私たちのような
ふつうの人々にふりかかったから

関係ない—遠くで起きたこと

必死だ—被災者を助けるために

怒っている—人々への警告がなかった

混乱している—何が起こったか、そして私の
気持ちについて

あなたの気持ちはクラスの友人と同じでしたか？ あなたはそれから何を学びましたか？

あなたや友人は、この災害について何をしましたか？

そのことに効果はあったと思いますか？ もっとしたいことは何ですか？

アクティビティ3: ハイチの歴史を知ろう

◆目的：ハイチの歴史・社会的背景について理解を深める

◆対象：中学生以上

◆資料：新聞記事、ワークシート

◆すすめ方：

①ハイチ地震で国連職員が多数死亡したことを伝える新聞記事を配布し、読む。

例) ハイチの国連 PKO 要員、数百人犠牲 特別代表も死亡説 (朝日新聞)

<http://www.asahi.com/international/update/0115/TKY201001140487.html?ref=reca>

例) 国連派遣団代表と副代表の死亡確認 (毎日新聞)

<http://mainichi.jp/select/world/news/20100118k0000m030032000c.html>

②なぜハイチに多数の国連職員 (PKO 要員) がいたのかを話し合う。

③ハイチの歴史をワークシートをつかって学び、感じたこと、考えたことを話し合う。

(※答えは最後のページに記載しています)

参考資料：外務省 (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/haiti/data.html>)、世界年鑑 2005 (共同通信社)

ワークシート:ハイチの歴史

◆ハイチの歴史を昔から今の順に並び変えてみよう

A

タノイー族やアラワク族、カリブ族などといった先住民族が暮らしていました。

B

奴隷らによる反乱軍が宗主国のフランスを相手に蜂起し、14 年間の戦争の末、独立しました。これを「ハイチ革命」といいます。世界初の黒人国、中南米初の独立国家になりました。

C

スペインのコロンブスが上陸し、島をイスパニョーラ島と命名しました。

D

アメリカ軍撤退後、クーデターが起こり、黒人大統領が誕生しました。その後、軍事独裁政権が起こり、それに対するクーデターが発生するなど、政治的に不安定な情勢が続きました。

E

フランスがハイチを植民地にし、コーヒーや砂糖のプランテーションを開設しました。プランテーションで働くためにアフリカ大陸から多くの黒人奴隷がつれてこられました。

F

アフリカからハイチに黒人奴隷が送られ、ハイチからはヨーロッパにコーヒーなどが運ばれ、ヨーロッパからアフリカには小麦粉やワイン、布などが運ばれる「三角貿易」がおこなわれました。

G

ドイツをはじめとするヨーロッパの国々による植民地化への干渉が続き、その結果、アメリカ軍がハイチを軍事独占しました。

H

ハイチ国内の混乱を鎮めるため国連の多国籍軍が派遣され、その後平和維持活動 (PKO) に指揮権が移譲されました。

アクティビティ4: 誰がハイチを支援している？

◆目的：大規模災害に対する国際的な支援活動と市民による支援活動を知る

◆対象：中学生以上

◆資料：ワークシート

◆すすめ方：

①ワークシート「ハイチ地震への人道支援額ランキング」を見る

出典：国連人道問題調整事務所（OCHA）

http://ocha.unog.ch/fts/reports/daily/ocha_R24_E15797__1001250204.pdf

②小グループで空欄に当てはまる国や機関を予想する（※答えは最後のページに記載しています）

③なぜそう思ったのか発表し、答え合わせをする。

④意外だったこと、気がついたことなどを話し合う。

- ・ 国家による支援だけでなく民間組織（NGO）/個人寄付が多いことについてどう思った？
- ・ どの地域からの支援が多いだろう？はじめて名前を聞く国はあったかな？どんな国が調べてみよう。
- ・ 日本政府も支援していることは知っていたかな？どんな支援をしているのだろうか？など

⑤日本の民間組織（NGO）/個人ではハイチ支援活動にどんな組織が取り組んでいるのか調べる

参考：国際協力 NGO センター（JANIC）<http://www.janic.org/news/haichi.php>

OCHA のデータは地震発生後から毎日更新されています。最新情報を使いたい方は、ウェブから入手しましょう。<http://ochaonline.un.org/tabid/6412/language/en-US/Default.aspx>(リスト B. Total Humanitarian Funding per Donor in 2010 をクリック/英語)

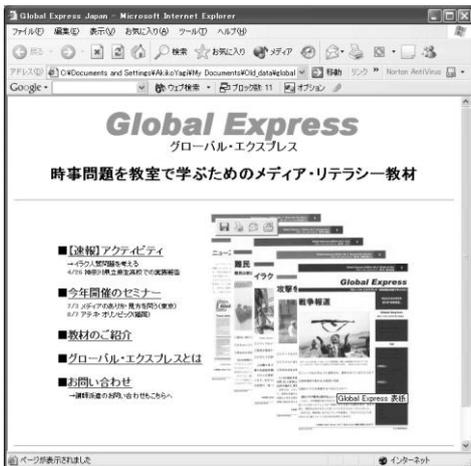
ワークシート:ハイチ地震への人道支援額ランキング (2010年1月25日現在/\$1=¥100 換算)

◆A～Dにあてはまる国を予想してみよう

- ① 日本
- ② 国連緊急援助基金（CERF）
- ③ 個人寄付/民間組織（NGO等）
- ④ スペイン
- ⑤ ブラジル

支援者	支援額（円）	総支援額に占める%
A	約 183 億 630 万円	28.7%
アメリカ合衆国	約 167 億 6,198 万円	26.2%
カナダ	約 39 億 4,524 万円	4.9%
フランス	約 31 億 3,131 万円	4.0%
B	25 億 7,816 万円	4.0%
イギリス	25 億 7,229 万円	3.1%
スウェーデン	19 億 9,417 万円	3.1%
オーストラリア	13 億 4,892 万円	2.1%
C	13 億 667 万円	2.0%
デンマーク	11 億 2,463 万円	1.8%
ドイツ	10 億 8,322 万円	1.7%
ノルウェー	10 億 519 万円	1.6%
イタリア	8 億 3,745 万円	1.3%
フィンランド	6 億 4,183 万円	1.0%
ECHO（EU 人道支援機関）	5 億 9,163 万円	0.9%
D	5 億 5,357 万円	0.9%
中国	5 億 4,052 万円	0.8%
国連諸機関	5 億 1,542 万円	0.8%
ロシア	5 億円	0.8%
スイス	4 億 3,689 万円	0.7%
オランダ	4 億 3,290 万円	0.7%
アラブ首長国連邦	3 億 1,081 万円	0.5%
ガーナ	3 億円	0.5%
E	2 億 3,271 万円	0.4%
不明	2 億 2,191 万円	0.3%
その他	25 億 8,539 万円	4.0%
合計	約 638 億 5,921 万円	100%

Global Express ニュース



■レポート、感想をお寄せください

<http://www.dear.or.jp/ge/>

ウェブサイトからの教材ダウンロードも、とても多くの方にご利用いただいています。タスクチームでは、教材をご覧になった感想や、レポートを募集しています。

「こう使った」「ここが使いにくかった」「こんな風に応用させた」等々、どんなことでも結構です。

実践報告をウェブサイトの「実践レポート」コーナーに掲載することもできますので、ご希望の方は下記 DEAR 事務局(担当:八木)までご連絡ください。

■グローバル・エクスプレス日本版 第1号～5号 好評領布中！

教育の現場で活用できるアクティビティが詰まったグローバル・エクスプレス。ぜひセットでお求めください。

セット: 会員価格 1,600 円、一般販売価格 2,000 円

- 第1号 ニュースに耳を傾ける(基本編)
- 第2号 攻撃を超えて(9.11 同時多発テロとイスラム)
- 第3号 難民(難民、日本における難民政策)
- 第4号 イラク(イラク問題、紛争の解決)
- 第5号 戦争報道(イラク戦争と報道)



→ 「グローバル・エクスプレス サンプル版」について

- ・グローバル・エクスプレス・タスクチームが時事問題をテーマにした教材を速報アクティビティとして提案します。
- ・速報アクティビティへのご意見・ご提案・実践報告は大歓迎です。
- ・今年度、グローバル・エクスプレス・タスクチームには、ほとんど活動予算がありません。ご寄付も歓迎します。
(ご寄付は、セミナー開催費用、冊子印刷費用、HP維持費、資料購入費などに利用いたします)

→ この教材のご利用について

この教材の著作権は(特活)開発教育協会に所属し、本誌の全部または一部を無断で複写・転載・引用・要約することは禁じます。本誌の「生徒用ワークシート」の複写による利用は、学問的な利用、教室・研究会等での利用に限ります。

特定非営利活動法人 開発教育協会(DEAR)

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-17-41 富坂キリスト教センター2号館3階

Tel: 03-5844-3630 Fax: 03-3818-5940

E-mail: main@dear.or.jp URL: <http://www.dear.or.jp>



■ハイチの歴史の答え

A→C→E→F→B→G→D→H

■ランキングの答え

A=③個人寄付/民間組織(NGO等) B=②国連緊急援助基金 C=④スペイン D=⑤ブラジル E=①日本